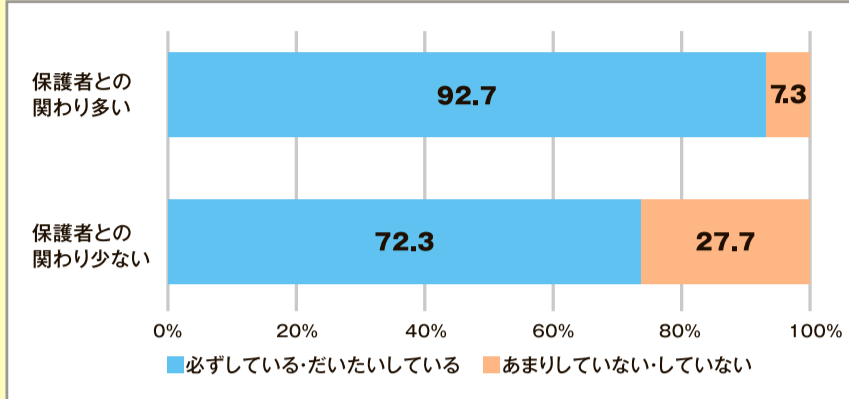


# ポイントは子どもとのコミュニケーション! 家庭でのよりよい習慣づくりについて考えてみましょう

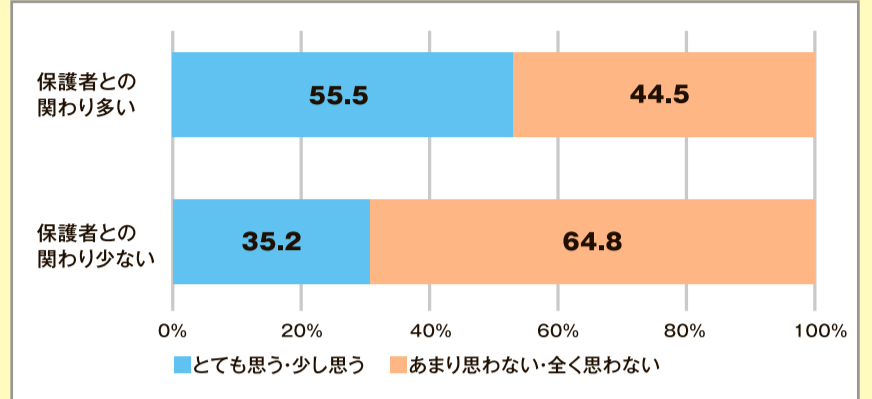
家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが「生きる力」の資質や能力を身に付けていく基礎をつくります。子どもが健やかに成長するためには、各家庭で、子どもの発達に応じた保護者の関わりが非常に重要です。

保護者の子どもの関わり(しつけ等)と生活習慣(朝食をとる、自分で起きる、家であいさつをする等)の関係(小学生)



参考:平成24年度青少年の体験活動等に関する実態調査

保護者の子どもの関わり(しつけ等)と「勉強は得意な方だ」の関係(小学生)



参考:平成24年度青少年の体験活動等に関する実態調査

子どもが幼い頃から、保護者が子どもに対して関わり(早寝早起き朝ごはんの習慣づけ、家庭内や近所でのあいさつ、家事の手伝いなど)をしっかりもつことで、生活習慣が定着したり、勉強が得意になるなどの傾向にあることが報告されています。

## 子育てに悩みはつきもの

子どもとコミュニケーションをしっかりとり、保護者の気持ちを子どもにうまく伝えることができると、子どもも納得して自分の生活や行動を見つめ直すことができるのではないのでしょうか。



### 子どもが愛されていると実感できるコミュニケーションをとる

子どもは、愛され理解されたがっている存在です。  
**「日頃から子どもの話をじっくり聞く」「子どもの気持ちになって考える」「深い関心を払う」といった姿勢を親が身に付けることで、子どもは親に愛されている実感を得ることができます。**  
**子どもは愛されていると感じるとき、安定した気持ちで問題に立ち向かうことができます。**

### 「叱られる側」の子どもの立場も考えてみる

しつけは大切ですが、しつけなくては、という気持ちから、つい手を出してしまい、その行為に歯止めがきかなくなってしまう場合もあります。子育てのイライラやストレスが、子どもへの愛情を忘れさせ、叱るという行動にすりかわっているのではないのでしょうか。  
 上手な叱り方のヒントは、「叱られる側」の子どもの立場になって考えること。「**そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受けとめるだろうか**」まず、ここから考えてみましょう。

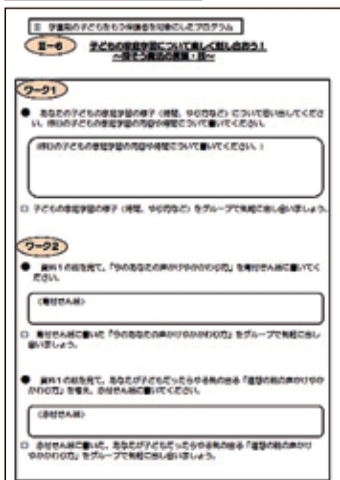
(資料:家庭教育手帳 一岡山県版一)

## 他の保護者の子育てのやり方を知り子どもとのコミュニケーションの参考に!

### 「親育ち応援学習プログラム」の活用

「親育ち応援学習プログラム」は、学校園や身近な地域で互いに交流しながら子どもとの関わり方など、子育てについて楽しく学び合うことができる参加型の学習教材です。

【プログラム例】  
**「子どもの家庭学習について楽しく話し合おう」**



(楽しい雰囲気の中で行われます)

## さらにもう一つ!!保護者同士の良好なコミュニケーションも子育ての助けに!!

就学前の「親育ち応援学習プログラム」に参加した保護者へのアンケートでは「保護者間のつながりが深まる」と答えた人が90%を超えています。

### 保護者の感想から

同じ思いを抱えている人たちと話をすると、共感してもらって、ストレス解消になりました。



保護者同士のつながりができて、改めて同じ思いをしているお母さんもいるんだと思いました。

普段思っていたもなかなか言えないことを共有できたので、今後の子育ての参考にさせていただきます。

親育ち応援学習プログラムのお問い合わせ先

岡山県教育庁 生涯学習課 岡山市北区内山下2-4-6 TEL.086-226-7597 FAX.086-224-2035

親育ち応援学習プログラム [検索](#)

※「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。